

Invincible
Investment Corporation

インヴィンシブル投資法人
個人投資家向けwebセミナー

TSE Code : 8963

2025年10月29日

I. J-REITについて

I-1.	J-REITとは	3
I-2.	J-REITの特徴 ～現物不動産投資との比較～	4
I-3.	J-REITの特徴 ～上場株式投資との比較～	5

II. インヴィンシブル投資法人について

II-1.	インヴィンシブル投資法人の概要	7
II-2.	ホテルポートフォリオの分布とタイプ構成	9
II-3.	主なホテルの紹介	10
II-4.	メインのホテルオペレーター：アイコニア・ホスピタリティ株式会社	12
II-5.	ICNの取組みの紹介（一部）	13
II-6.	賃料体系	14
II-7.	スポンサー：フォートレス・インベストメント・グループ	15
II-8.	スポンサーパイプライン	16
II-9.	物件改修事例	17
II-10.	KPIの推移	19
II-11.	財務の状況	20

III. ホテルの市場環境

III-1.	宿泊市場規模の推移	22
III-2.	今後の訪日需要	23
III-3.	訪日外国人の受入体制（インフラ整備）	24
III-4.	リピーター	25
III-5.	ホテルの供給	26

IV. 投資主優待

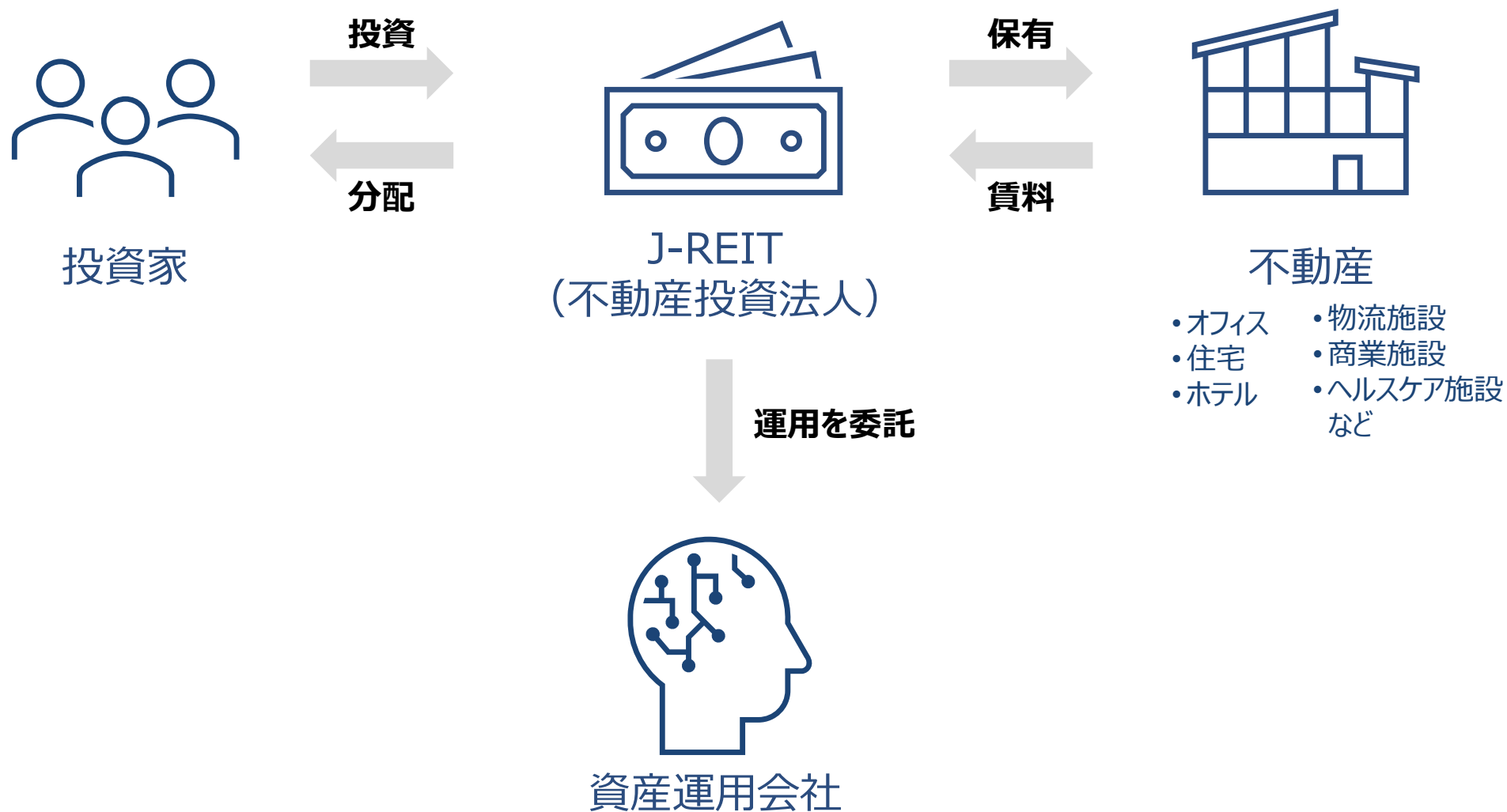
V. Appendix

V-1.	住居の業績	30
V-2.	ESGに関する取組み	31



I . J-REITについて

J-REITとは、投資家から集めた資金を不動産に投資し、その賃料収入や売却益を投資家に分配する金融商品



少額投資



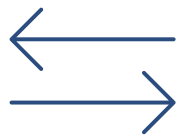
- J-REITは**数万円程度**から投資が可能
…本投資法人の平均投資口価格：**66,615円**（2025年9月平均）¹

分散投資



- J-REITの58銘柄は平均して**84件**の物件を運用し²、リスク分散
…本投資法人は**156物件**に投資

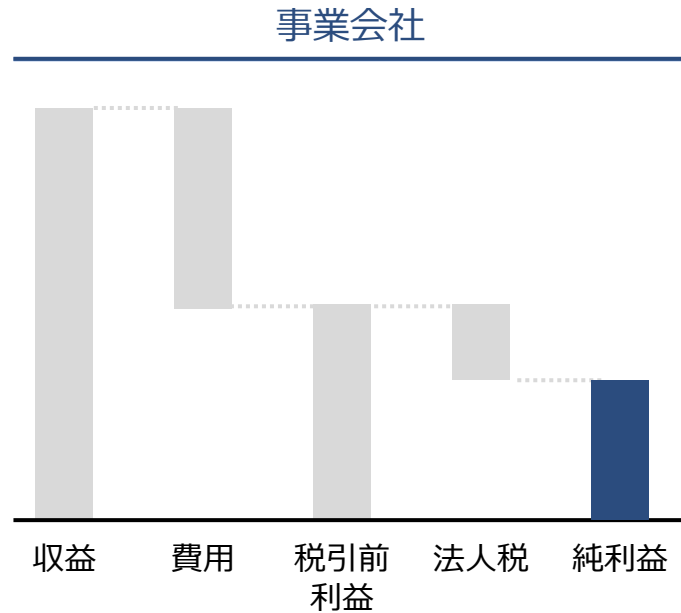
高い流動性



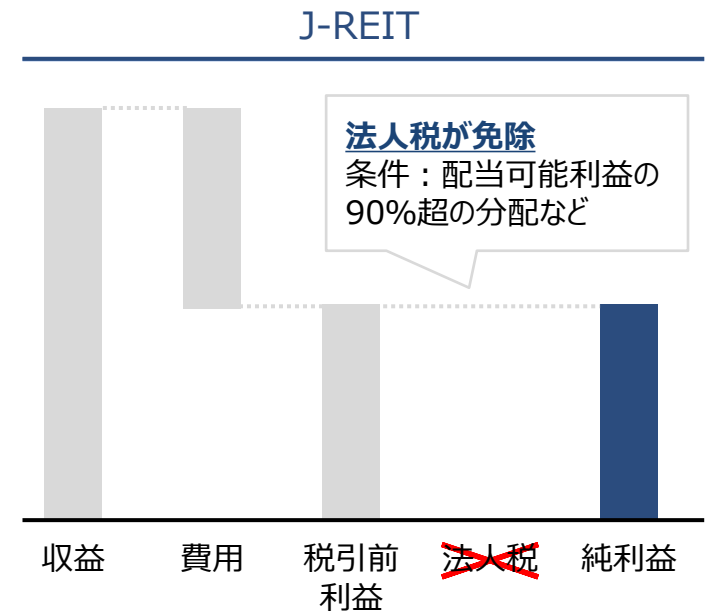
- J-REITは**上場**しているので、上場株式と同様に**市場取引**が可能
…本投資法人の一日平均売買代金：**21億円**（2025年9月平均）¹

I-3. J-REITの特徴 ～上場株式投資との比較～

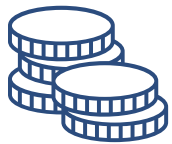
法人税が免除
(条件あり)



VS.



相対的に
高い配当利回り



平均配当利回りの推移¹



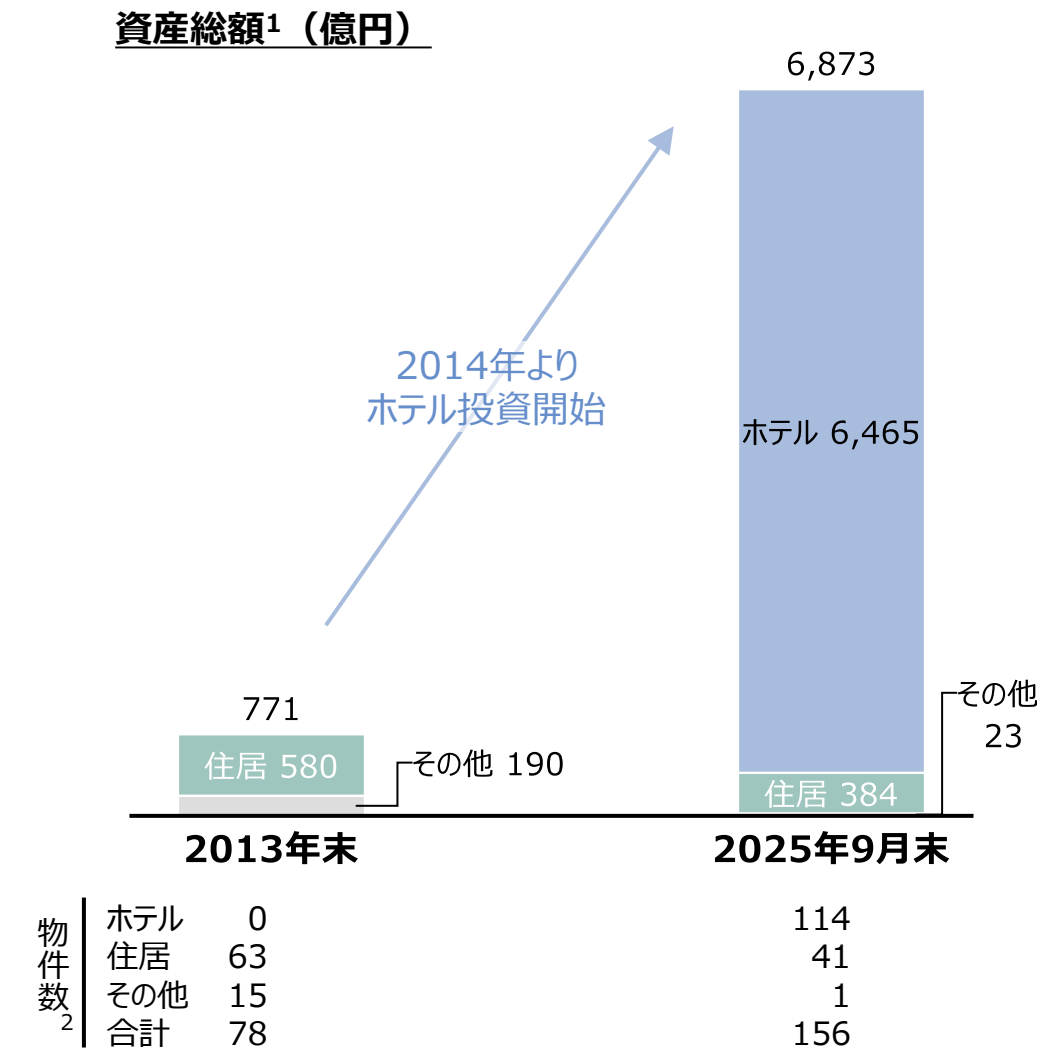
(注1) 出所：不動産証券化協会、日本取引所グループ



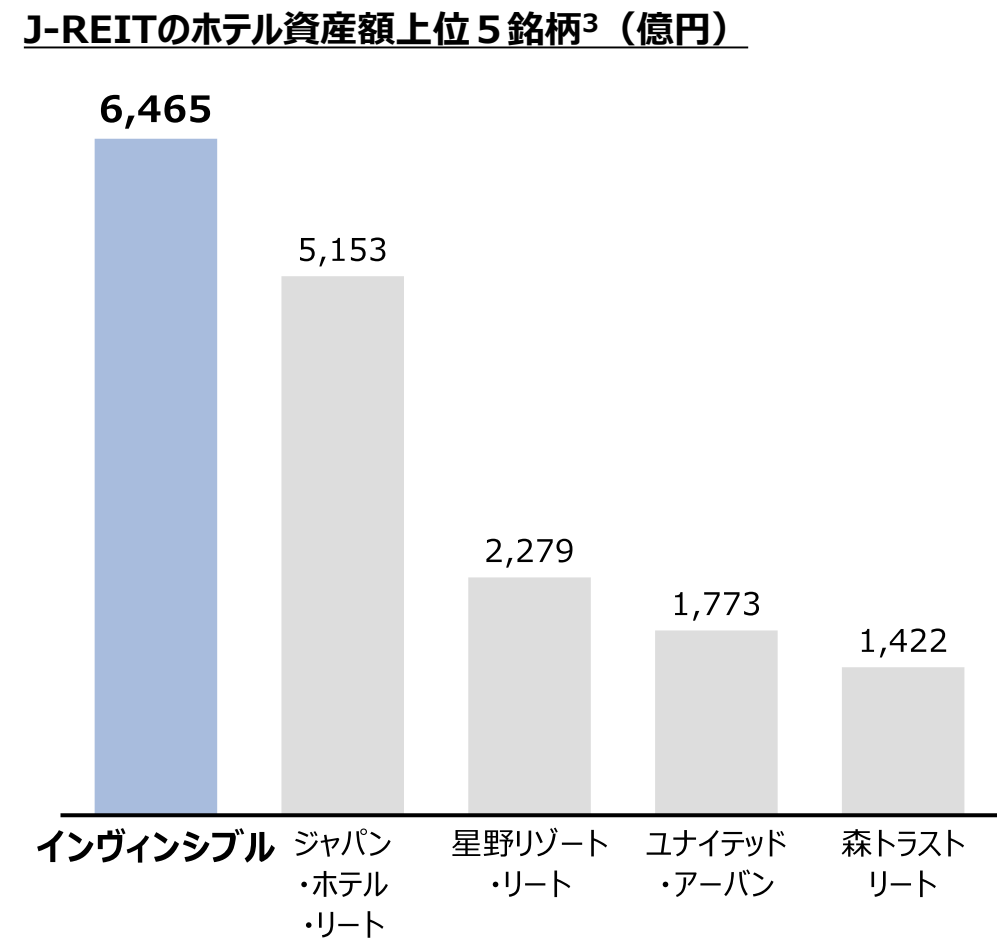
Ⅱ．インヴェンシブル投資法人について

Ⅱ-1. インヴィンシブル投資法人（INV）の概要 ～その1～

①メインの運用資産はホテル



②ホテルの資産規模はJ-REIT最大



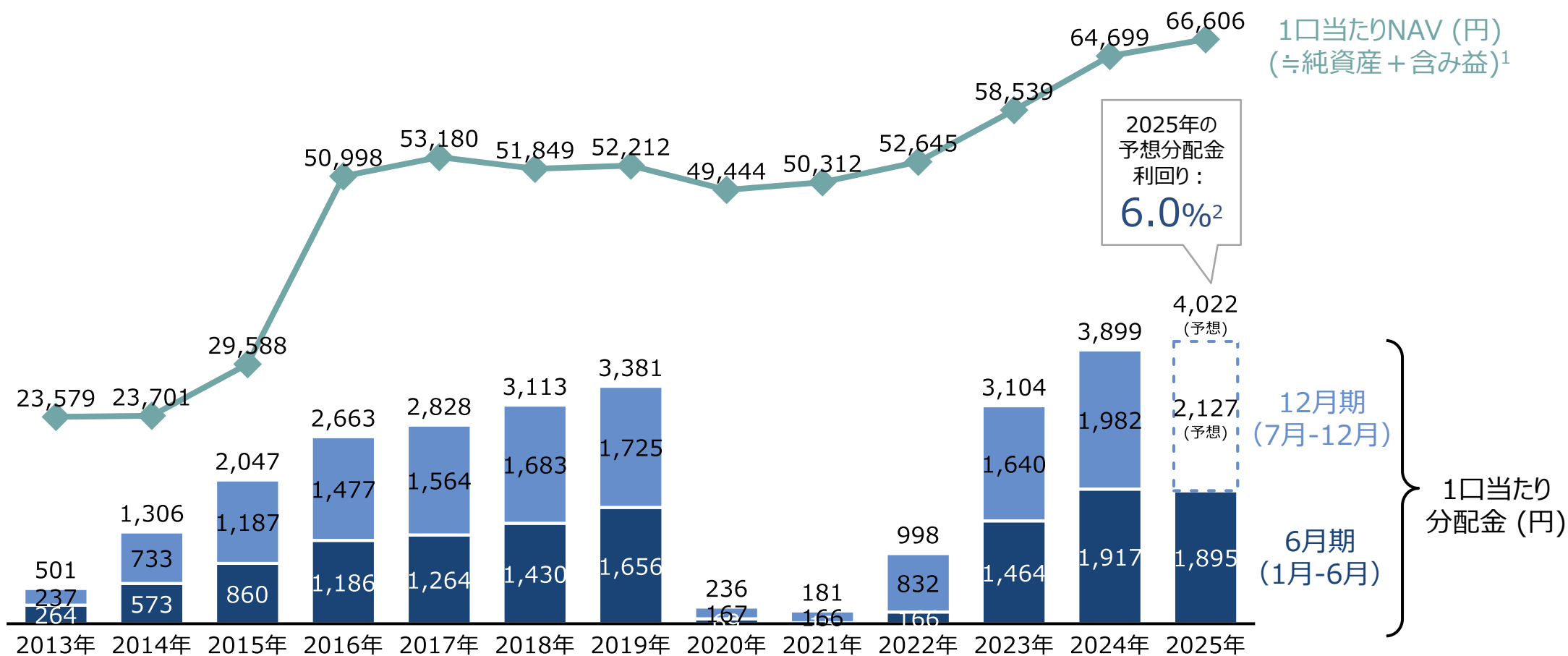
(注1) 各対象期間の末日時点における取得価格に基づきます。なお、「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」を裏付不動産としてキングダム特設目的会社が発行する優先出資証券に係るINVの出資金額を含みます。また、「ウェスティン・グランドケイマン・セブンマイルビーチ・リゾート&スパ」及び「サンシャイン・スイーツ・リゾート」の海外資産2物件（「本海外ホテル」）については、本海外ホテルに係るLeasehold等を裏付不動産として保有していた英領ケイマン諸島の特別目的会社（以下「資産保有SPC」といいます。）から本海外ホテルに係るLeasehold等を承継した2019年5月9日（ケイマン諸島の現地時間、日本時間では2019年5月10日）時点の資産保有SPCにおける本海外ホテルに係るLeasehold等の帳簿価額を、取得価格とし、2018年7月26日に締結した為替予約契約（2018年9月26日付で実行済み）に基づき米ドルと日本円の為替予約レートである1米ドル＝110.45円で邦貨換算しています。

(注2) 優先出資証券については、各裏付資産をそれぞれ1物件とし、当該資産の用途に基づき分類しています。

(注3) 2025年9月末時点

③ 1口当たりNAV、分配金ともに、コロナ禍を除き、堅調に成長

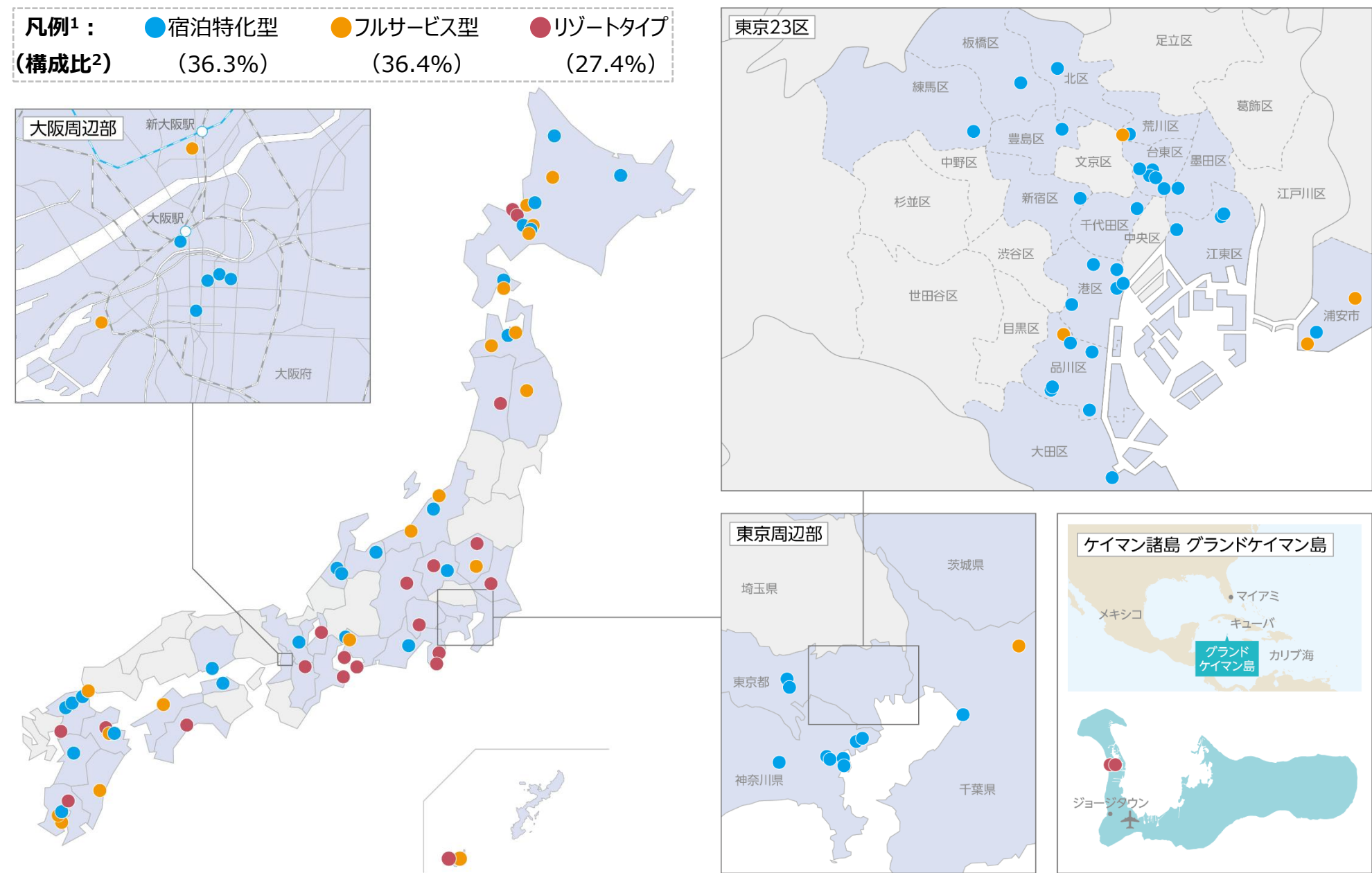
1口当たりNAVと分配金の推移



(注1) 「1口当たりNAV」は、(期末純資産額 - 未処分利益 + 投資不動産の期末鑑定評価額合計 - 投資不動産の帳簿価額合計) ÷ 期末発行済投資口総口数により算出しています。各年の6月期の数値を記載しています
(注2) 本資料の日付時点の2025年の予想分配金額を2025年9月末の投資口価格の終値 (67,400円) で除して算出しています

Ⅱ-2. ホテルポートフォリオの分布とタイプ構成（2025年9月末時点）

地域面、ホテルタイプの両面で高度に分散化されたホテルポートフォリオを構築



(注1) 「フルサービス型」とは、原則として朝・昼・晩の三食を提供する（予約による提供を含みます。）レストランと宴会等に使用できる会議室の両方を保有するホテルをいいます。「宿泊特化型」とは、「フルサービス型」に該当しないホテルをいいます。「リゾートタイプ」とは、主として観光や保養などを目的とした宿泊客が多い立地にあるホテルをいいます。フルサービス型と宿泊特化型の両方が含まれます。なお、「リゾートタイプ」に該当する「フルサービス型」のうち、会議・宴会・結婚式・飲食などへの需要が非宿泊客を含めて相当に見込まれるホテルは「フルサービス型」に分類し、それ以外のホテルは「リゾートタイプ」に分類しています。また、「リゾートタイプ」に該当する「宿泊特化型」は「リゾートタイプ」に分類しています。以下本書において同じです

(注2) 取得価格に基づきます。なお本海外ホテルの取得価格の計算方法は7ページ（注1）記載の計算方法と同様です

Ⅱ-3. 主なホテルの紹介①

物件名称	ホテルマイステイズプレミア赤坂	アートホテル大阪ベイタワー & 空庭温泉	フサキビーチリゾートホテル&ヴィラズ
ホテルタイプ	宿泊特化型	フルサービス型	リゾートタイプ
外観			
取得価格	20,691百万円	31,185百万円	40,293百万円
所在地	東京都港区	大阪府大阪市	沖縄県石垣市
アクセス	東京メトロ千代田線「赤坂」駅から徒歩4分、銀座線・南北線「溜池山王」駅から徒歩7分	JR大阪環状線・大阪メトロ中央線「弁天町」駅直結	石垣空港から車で約25分
建築年	2016年	1990年	1982年、2019年、2020年
改修時期	—	2017年9月～2018年4月、他	2005年4月、他
客室数	327室	458室	398室
特徴	- 最寄りの溜池山王駅から東京駅・新宿駅まで10～15分、羽田空港まで45分と交通アクセスに優れた立地 - 全室2名利用も可能と、ビジネス・レジャーの様々な需要にマッチする客室構成	- 弁天町駅から梅田等の大阪主要エリアへはアクセス良好 - ホテルは50階建てで眺望に優れる - 空庭温泉は安土桃山時代の街並みを再現した温泉型テーマパーク	- 敷地面積10.8ヘクタールを誇る日本有数のビーチリゾート - 高品質なサービスや多様な施設が高く評価され、2024年には「World Luxury Hotel Awards 2024」を受賞

Ⅱ-3. 主なホテルの紹介②

物件名称	ウェスティン・グランドケイマン・セブンマイルビーチ・リゾート&スパ	亀の井ホテル 伊豆高原	シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル
ホテルタイプ	リゾートタイプ	リゾートタイプ	フルサービス型
外観			
取得価格	30,061百万円	5,563百万円	17,845百万円 (優先出資持分49.0% ¹⁾)
所在地	英領ケイマン諸島 グランドケイマン島	静岡県伊東市	千葉県浦安市
アクセス	オーウェン・ロバーツ国際空港 (最寄空港) へは北米各都市より直行便が就航	伊豆急行線「伊豆高原」駅から車で約6分	ディズニーリゾートライン「ベイサイド・ステーション」駅より徒歩1分
建築年	1994年	1988年	1988年、1996年、2002年、2016年
改修時期	2016年5月～2017年10月	2020年6月～2021年3月	2014年9月～2015年7月、他
客室数	343室	55室	1,016室
特徴	・ グランドケイマン島の最高のロケーションに位置する4つ星ホテル ・ 約200mのプライベートビーチはセブンマイルビーチ上に所在するホテル中、最長。ウォーターアクティビティが充実	・ 全室オーシャンビューで相模湾を一望できる高台に立地 ・ 客室の4割が52～116㎡の広さで、温泉露天風呂付きとラグジュアリーな造り	・ 東京ディズニーリゾート (TDR) ・オフィシャルホテル中最多の客室数を誇る ・ 当該エリアでマリオット・インターナショナルが運営する唯一のホテル ・ TDR来園者による高水準かつ安定した宿泊需要が望める

(注1) シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルを裏付資産とする特定目的会社の優先出資証券49%に係る本投資法人の出資金額を記載しています



INVの保有ホテルの約 9 割を
アイコニア・ホスピタリティ株式会社（ICN）が運営

日本で有数の規模

運営棟数¹ 運営室数¹ 従業員数¹
185棟 **25,412室** **12,117人**

ホテルチェーン国内客室数ランキング²

1位	株式会社東横イン
2位	アパホテル株式会社
3位	ルートインジャパン株式会社
4位	ICN
5位	マリオット・インターナショナル
6位	株式会社共立メンテナンス
7位	株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド
8位	株式会社スーパーホテル
9位	大和ハウスリアルティマネジメント株式会社
10位	株式会社オークラニッコーホテルマネジメント

多彩なブランドを展開

展開ブランド例



HOTEL MYSTAYS

日本全国、中心地から郊外まで広く展開する、宿泊に特化したホテル。
清潔な空間、充実したアメニティ、安心いただけるサービスで、お客さまひとりひとりに
快適な滞在を提供いたします。

ART HOTEL

宿泊だけでなく、婚礼、レストラン、入学や還暦のお祝いなど、ライフイベントに寄り
添ったサービスを提供するホテル。
その土地ならではの、充実したおもてなしでお迎えます。



KAMENOI HOTEL

日本各地の著名な温泉地や自然豊かなエリアに展開し、その土地ならではの魅力を
堪能できるホテル。
さまざまなタイプのお部屋をご用意し、笑顔とまごころのサービスをお届けします。



北海道から沖縄まで、ご家族、ご友人との観光旅行などにおすすめのホテル。
温泉地やビーチリゾートなど、気軽に非日常を味わえる、個性豊かなホテルが揃って
います。

(注1) 2025年10月1日時点
(注2) 出所：国際ホテル旅館（2025年8月）

II-5. ICNの取組みの紹介（一部）



レベニュー マネジメント

- 収益最大化のために、予約状況・周辺イベント等を勘案し、アルゴリズムで室料を設定



インバウンド 需要取り込み

- 多言語対応ウェブサイトを業界でいち早く導入
- 中国・台湾等、重点対象国にて現地セールスを強化



労働力確保

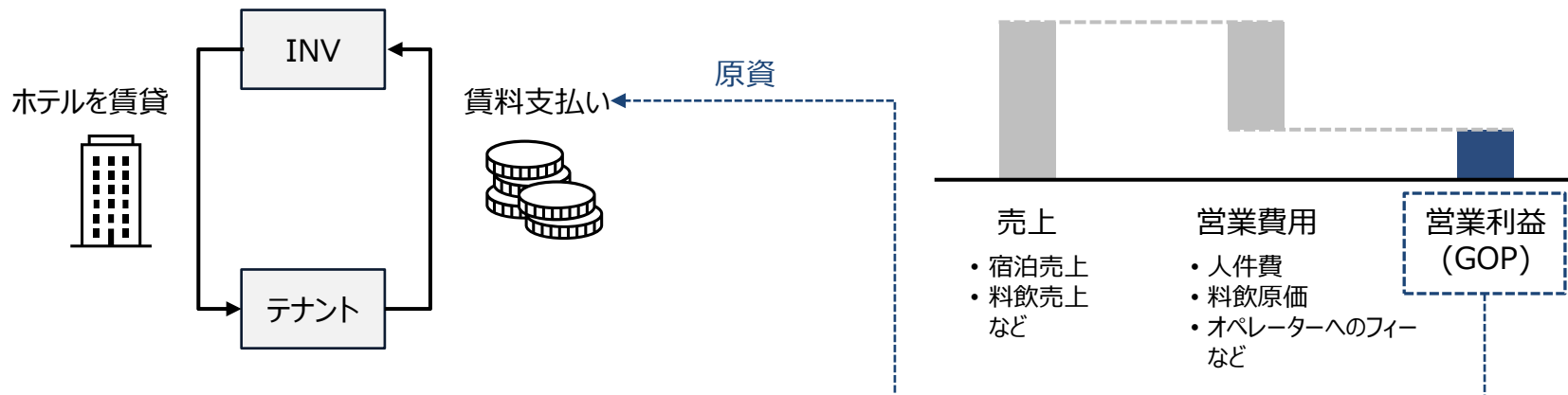
- コロナ禍でも新卒採用を継続
- 独自の「成田・ホスピタリティ・アカデミー」にて外国人技能実習生をトレーニングし、順次採用



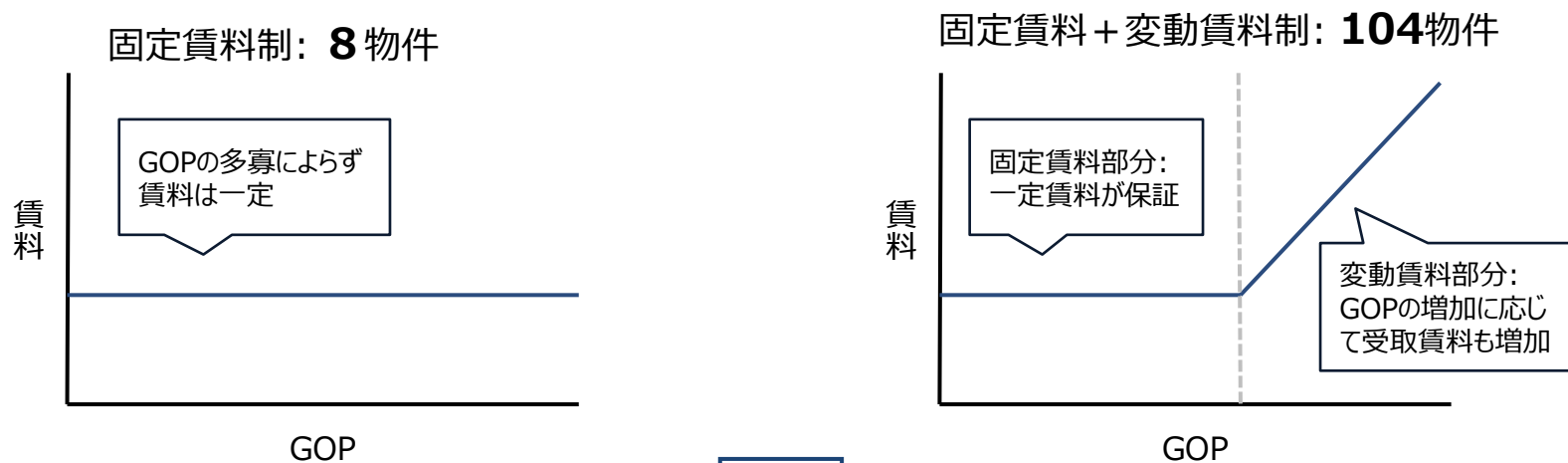
効率化推進

- 自動チェックイン機やQRクロックを導入し、フロント業務の効率化と顧客満足度の向上を推進

① ホテルの営業利益が賃料の原資



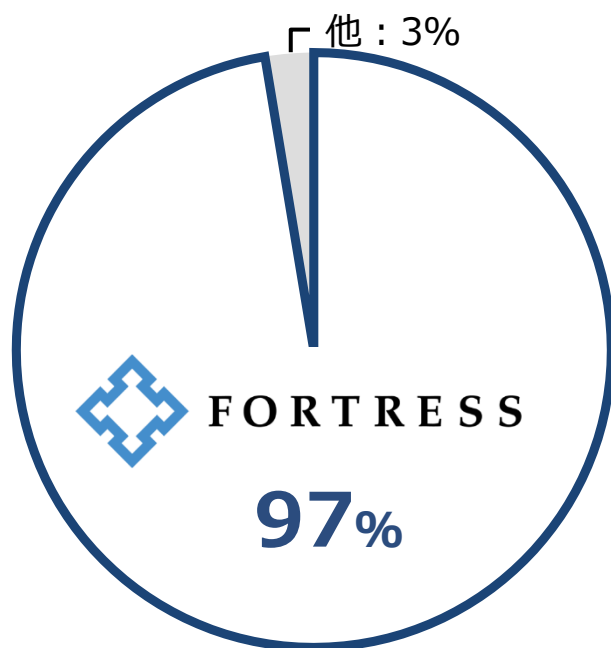
② INVのホテルの内、104物件が固定賃料 + 変動賃料制、8物件が固定賃料制（2物件のみ運営委託）



INVの賃料収入には、ホテル収益の増加がダイレクトに反映

INVは保有ホテルの9割超を
スポンサーのFIGから取得

INVのホテル（114物件）の取得先



FIGの概要

運用資産額	約530億米ドル ¹
本社	米国ニューヨーク
スポンサー としての実績	15年以上 （米国、欧州及び日本の上場REIT/不動産会社）
日本での 投資実績	ホテル、オフィスビル、商業施設、住居、物流施設等 （例：かんぽの宿、そごう・西武、常磐興産）
競争優位性 （例示）	ICNを傘下に有する ⇒ 業界最高レベルのホテル運営能力、 ホテル運営の知見獲得における競争優位性

- FIG及びその関係法人は、INVが保有するホテル以外に、日本全国に主としてICNが運営する約50のホテル（約6,450室）を管理
- INVの資産運用会社及びFIGは、各ホテルの改装やリブランド、その後の運営状況等を踏まえ、INVによる今後の物件取得の可能性について日常的に協議を行っている



(注1) 上図は、2025年8月25日時点において、FIG及びその関係法人が保有し、主としてICNが運営する物件をご紹介することを目的としたものです。上図に記載の物件につき、本資料の日付現在、本投資法人は、FIG及びその関係法人から当該各物件に係る優先交渉権を付与されているものではなく、したがって、本資料の日付現在物件取得の可能性について協議を行っている物件を含め、本投資法人が取得の検討機会を得られる保証はなく、また、取得の検討機会が与えられた場合に本投資法人が取得することを保証するものではありません

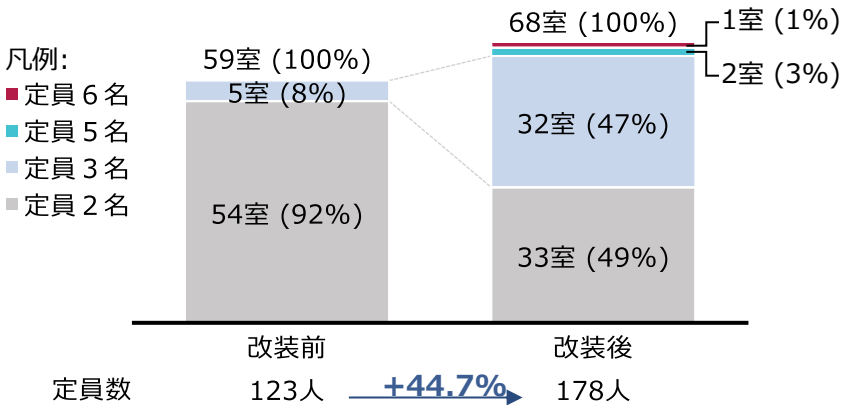
Ⅱ-9. 物件改修事例①（ホテルマイステイズ飯田橋）

- 改装工事による客室数増加と多人数部屋の増加により、定員は44.7%増加（123名⇒178名）
- GOPは、改装が無かった場合と比較して、144.4%（年間173,430千円）増加し、ROIは48%¹

■ 工事概要

期間	2024年5月～2024年9月
投資金額	360百万円（税別）
主な 工事内容	① 客室数増加 ・2階レストランを客室に改装（5室増） ・1階テナントスペースを客室へ改装（3室増）など ② 多人数部屋増加（トリプル・ファミリーなど） ③ 共有部改装

■ 客室ミックスと収容人数の改装前後比較



■ 改修前後比較

- 客室「スタンダードダブル」（2名） → 「コンフォートダブル」（3名）



- 6階「ジュニアスイートツイン」(2名) → 「デラックスファミリールーム」(6名)



- ロビー・フロントエリア



（注1）GOP増加額は、改装工事後の2024年10月から2025年9月のGOP実績値と、同期間の改装が無かった場合のGOP想定額との差額。ROIは当該GOP増加額を投資金額で除した数値

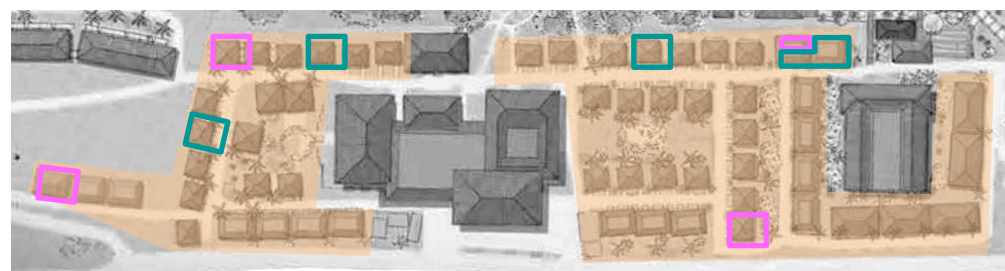
Ⅱ-9. 物件改修事例②（フサキビーチリゾートホテル＆ヴィラズ）

- 本物件の客室総計398室のうち、138室はヴィラタイプの「ガーデンヴィラズ」で構成される。ヴィラのうち最も古いものは1982年の竣工
- INVが本物件を取得した2023年の時点で、バリューアップ工事済みの客室は6室のみであったため、以降、他の客室のバリューアップ工事について継続的に検討を実施
- その結果、本年は10室の改装を決定。浴室、居室、外構を含めた全面的刷新による商品力向上を狙う。投資金額は289百万円、想定GOP増加額は56百万円、ROIは19.5%を見込む

改装範囲

名称	竣工年	客室数 (比率)
ガーデンヴィラズ	1982	138 (34.7%)
ガーデンテラス	2015	44 (11.1%)
ノースウィング	2019	151 (37.9%)
サウスウィング	2020	65 (16.3%)

凡例: ■ ガーデンヴィラズ ■ 2024年までに改装済 (6室) ■ 今回改装 (10室)



改装内容

改装項目

- ① ユニットバスからシャワールームへ改修
- ② 壁、床、天井の内装更新
- ③ FF&Eの更新
- ④ 備品 (テレビなど)の更新
- ⑤ 外構テラス工事
- ⑥ 天井のデザイン更新 (10室のうち一部)

改装前



改装後



工期

2025年3月から7月

投資効果

予想ROI: 19.5%

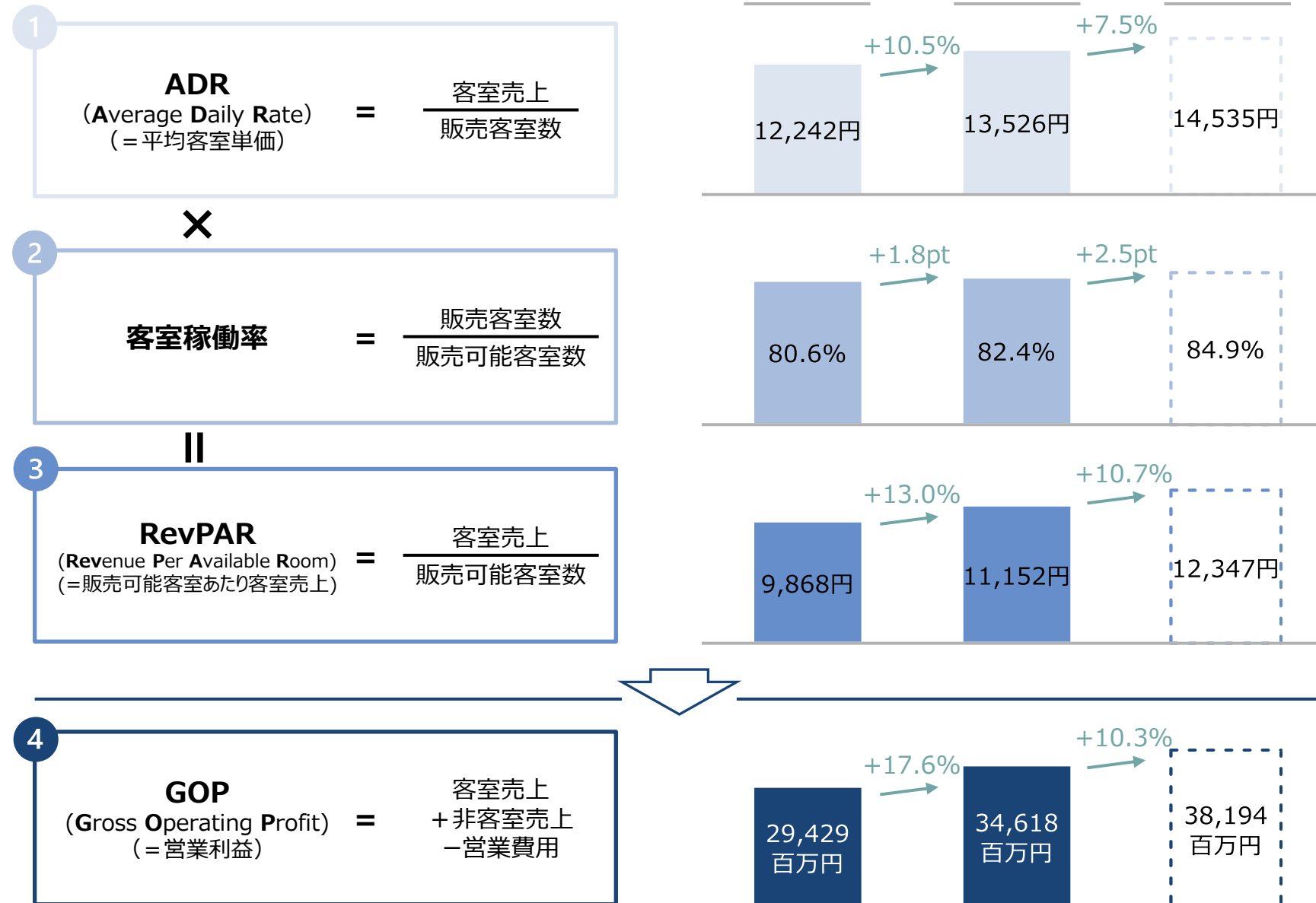
- 投資金額: 289百万円
- GOP増加額: 56百万円 (改装前比+2.5%¹⁾)



(注1) 今回改装した10室の改装前のGOPの金額に対する増加率ではなく、本物件全体の改装前のGOPに対する増加率を示しています

ICNによる収益向上の取組み、INVによる物件改修などの奏功に加え、好調な宿泊市場環境により、収益指標は継続的に向上

ICN91物件のKPI推移¹

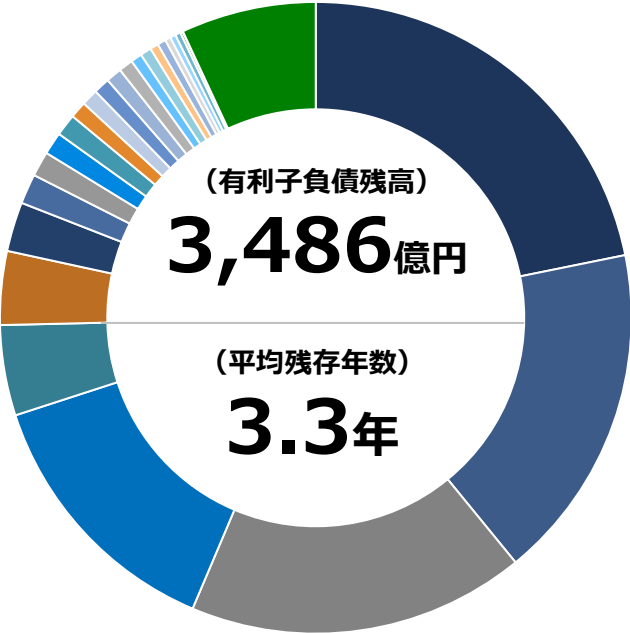


(注1) 2025年6月末時点でINVが保有するホテルのうち、ICN及びその子会社が運営する91物件のKPI推移です。当該物件を2023年年初から保有していたと仮定してKPIを算出しています。また、INVによる取得前の期間の実績は、売主から提供を受けた実績値を基に、INVが保有していたと仮定した調整を加えて算出しています

分散化された借入体制を構築

金利上昇に備えるべく、固定金利比率を増加。
LTVは安定して推移

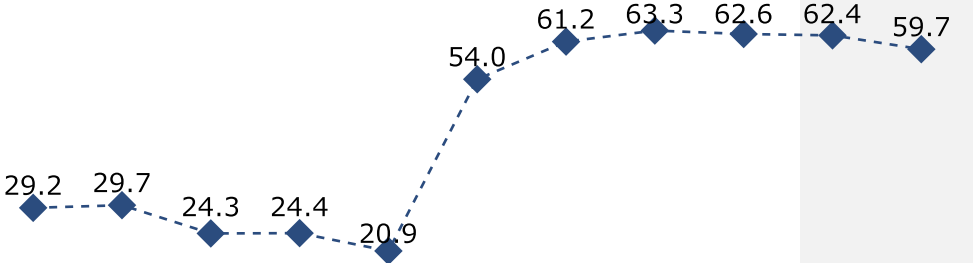
レンダーフォーメーション
(2025年10月15日時点)



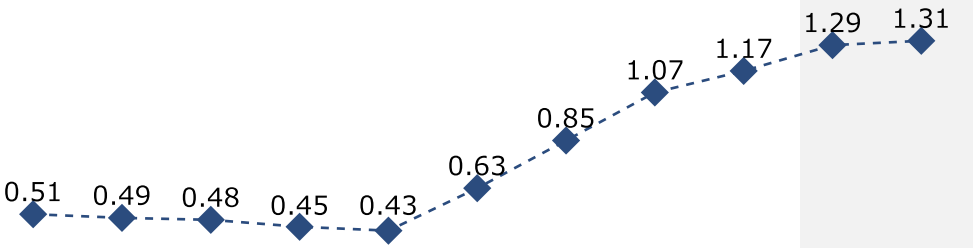
みずほ銀行	21.8%	栃木銀行	0.8%
三菱UFJ銀行	17.4%	静岡銀行	0.8%
三井住友銀行	17.4%	野村信託銀行	0.7%
三井住友信託銀行	13.6%	香川銀行	0.6%
日本政策投資銀行	4.6%	千葉銀行	0.6%
SBI新生銀行	3.8%	紀陽銀行	0.4%
東京スター銀行	2.5%	山陰合同銀行	0.3%
あおぞら銀行	1.5%	大垣共立銀行	0.3%
三十三銀行	1.3%	きらぼし銀行	0.3%
スルガ銀行	1.1%	西日本シティ銀行	0.1%
山口銀行	1.1%	山形銀行	0.1%
福岡銀行	0.9%		
あいち銀行	0.8%	投資法人債	6.9%

固定金利
比率
(%)

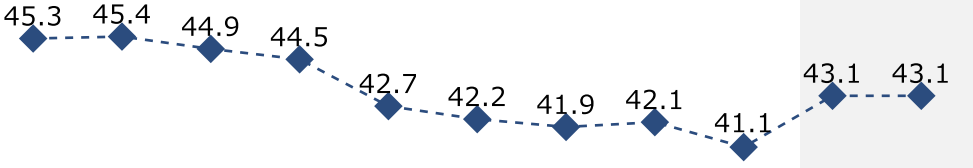
21/6 21/12 22/6 22/12 23/6 23/12 24/6 24/12 25/6 25/12 26/6



平均
借入利率
(%)



LTV
(%)

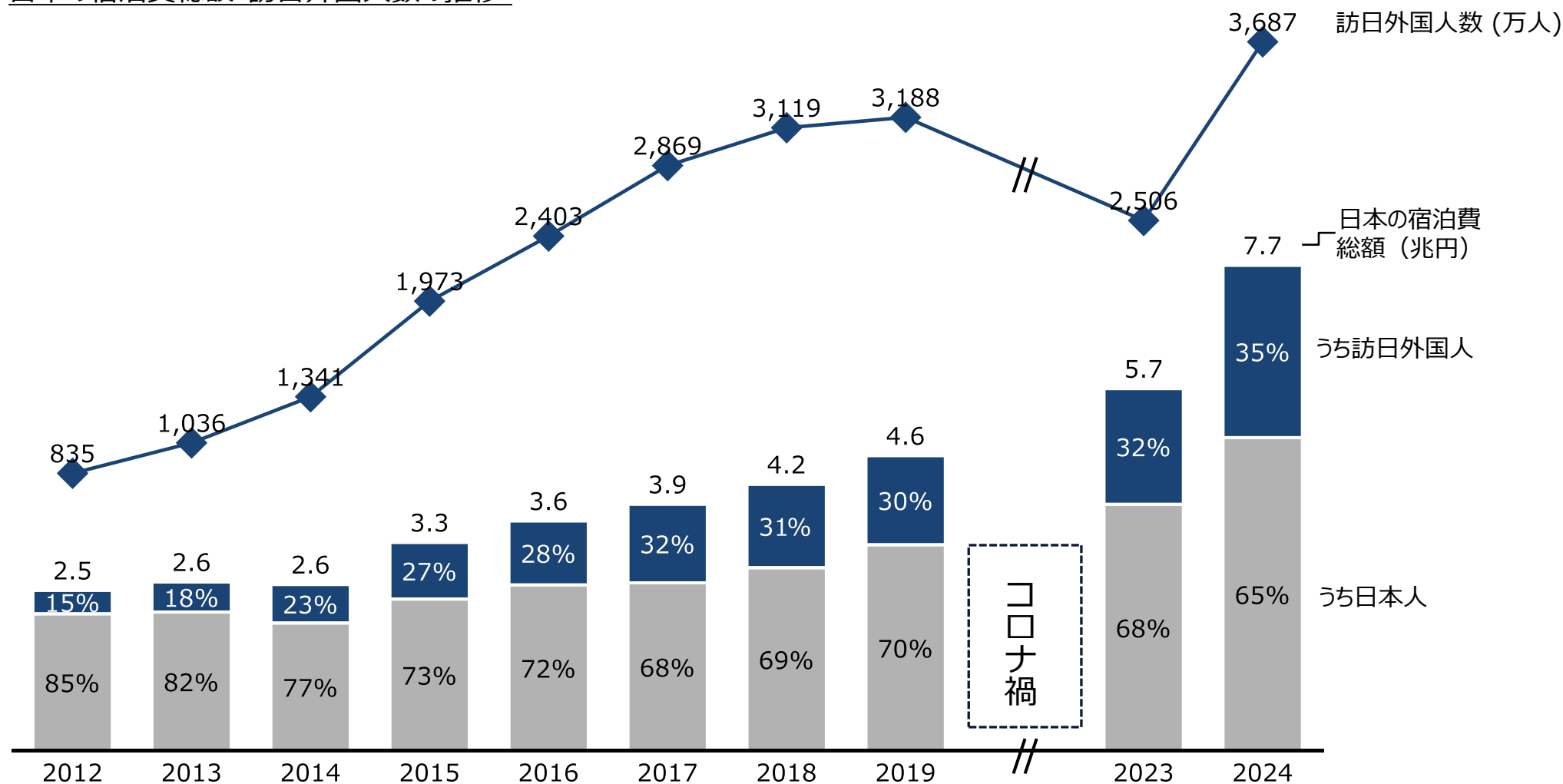




Ⅲ. ホテルの市場環境

日本の宿泊市場の成長には訪日外国人の増加が大きく寄与

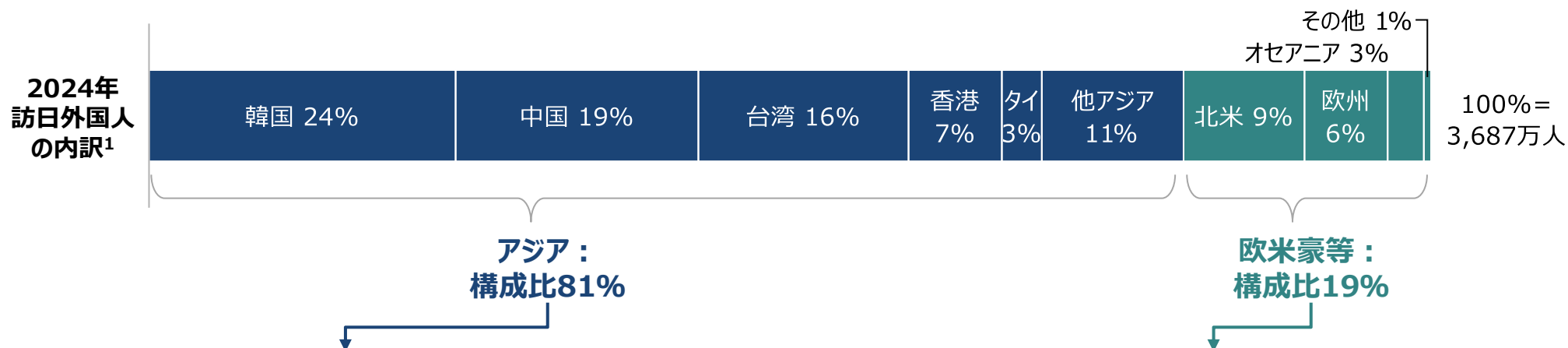
日本の宿泊費総額・訪日外国人数の推移¹



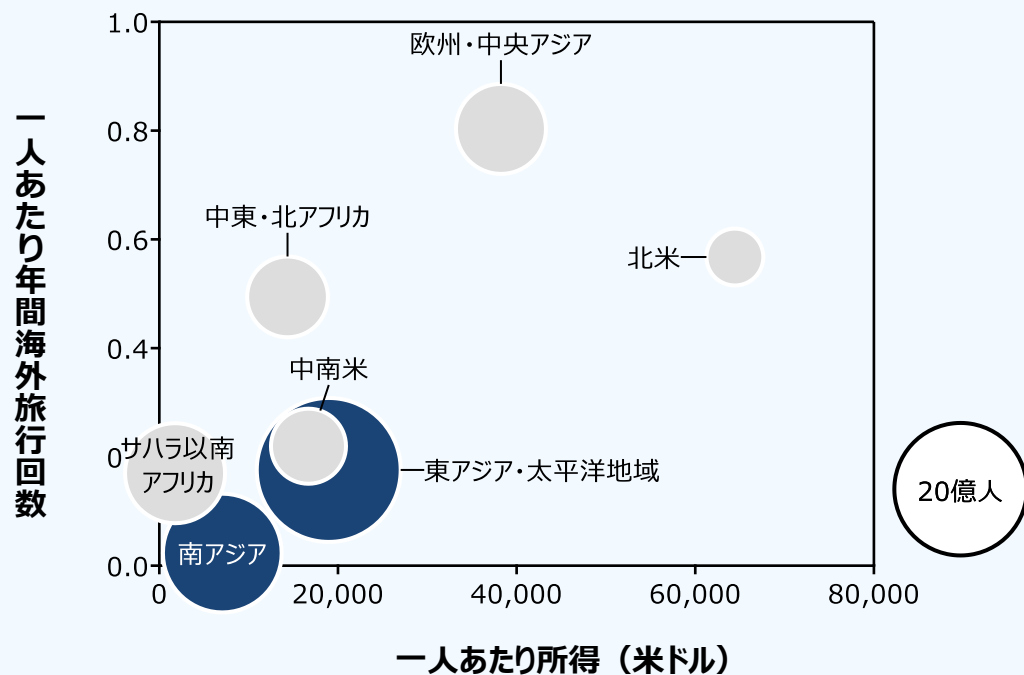
(注1) 出所：国土交通省、JNTO

Ⅲ-2. 今後の訪日需要

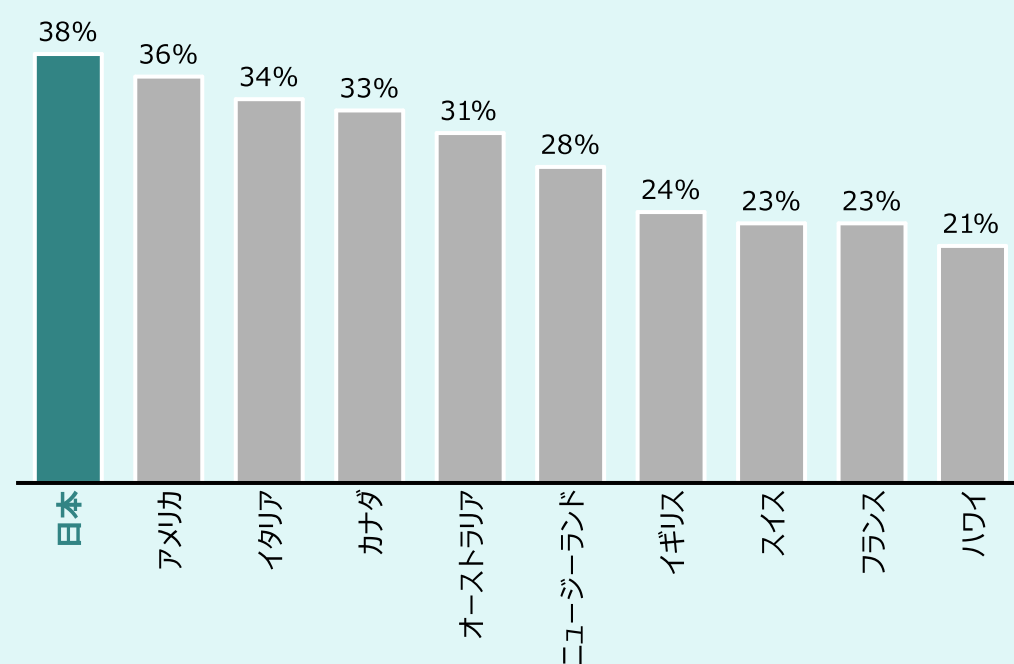
今後の訪日需要は、
 大宗を占める**アジア**については**所得増加**により、**欧米豪**については**高い日本人気**により、一層の増加が期待される



世界地域別の所得と海外旅行回数²



欧米豪居住者への質問：次に海外旅行したい国は？³



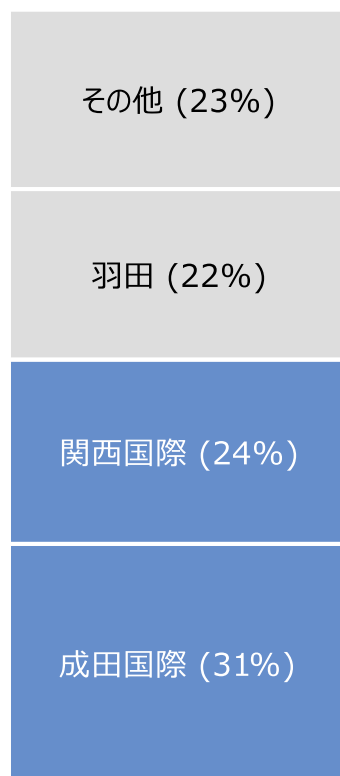
(注1) 出所：JNTO
 (注2) 出所：世界銀行（2019年のデータに基づき計算）
 (注3) 出所：日本政策投資銀行・日本交通公社

成田と関空は
国際線利用者の過半が利用

両港は、2030年以降に必要な発着容量を確保すべく、
各種取組みを実施

国際線旅客数の空港別内訳¹

100% = 100万人



2024年

発着容量拡大に向けた取組み²

関西
国際

- 政府目標「**2030年訪日外国人6千万人**」を踏まえた、当空港の2030年想定年間発着回数は**29.7万回**
- 2025年3月に、新飛行経路を開始。発着枠は**30万回**に拡大（変更前は23万回）

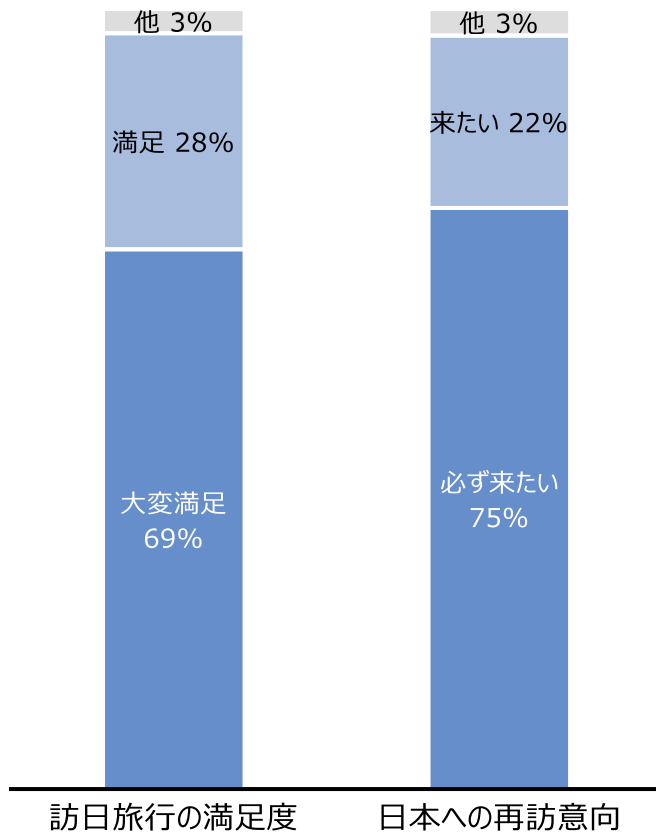
成田
国際

- 現状の年間発着枠は**34万回**
- 国等の需要予測では、2030年代～2040年代に、当空港の年間発着回数は**50万回**に到達
- 発着枠拡大のため、滑走路の新設・延長工事に本年5月に本格的に着手。必要用地の**85%**確保済
- 2029年3月からの供用開始を目指す

Ⅲ-4. リピーター

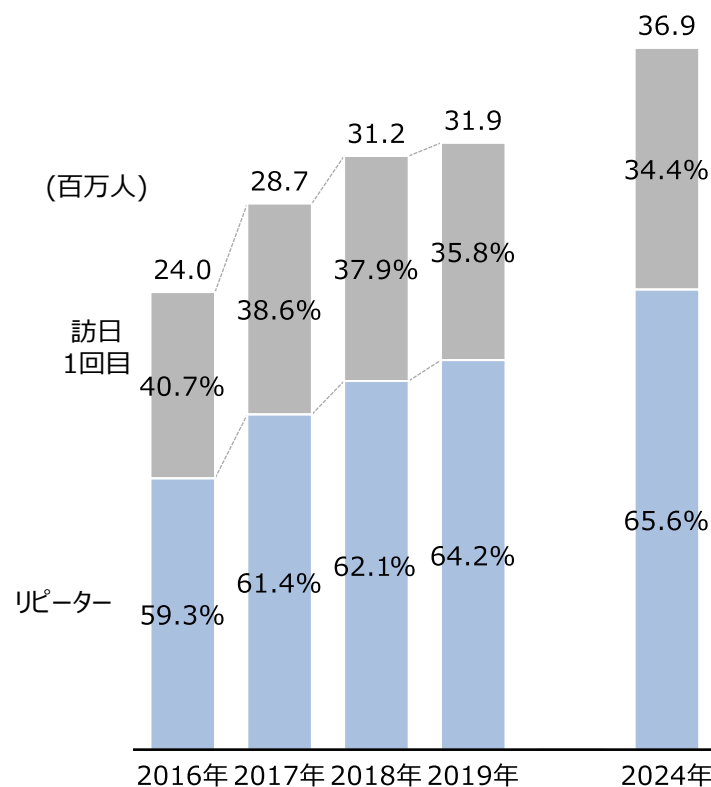
訪日外国人の満足度は高く、
再度の訪日を希望する割合も高い

訪日外国人意識調査¹



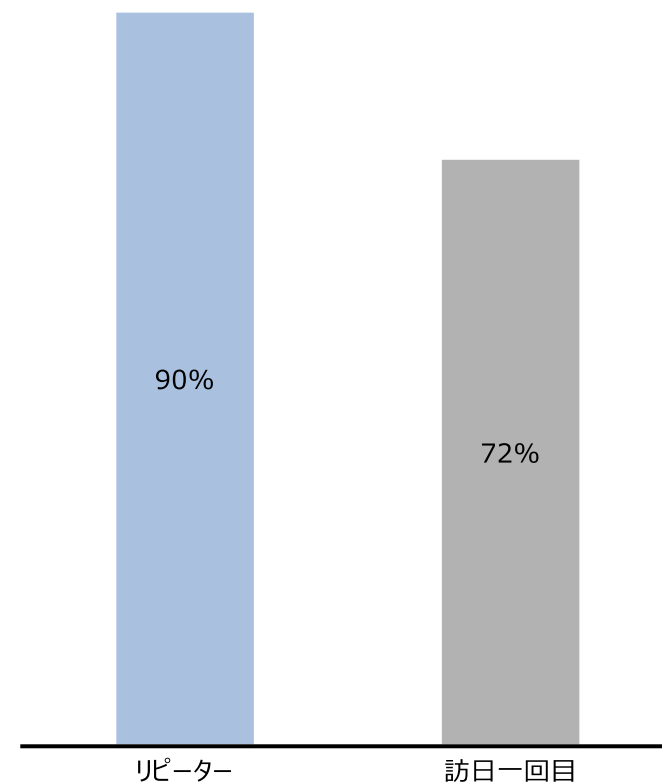
結果、訪日2回目以上のリピーターは
コロナ禍をはさんで着実に増加

訪日外国人の内訳²



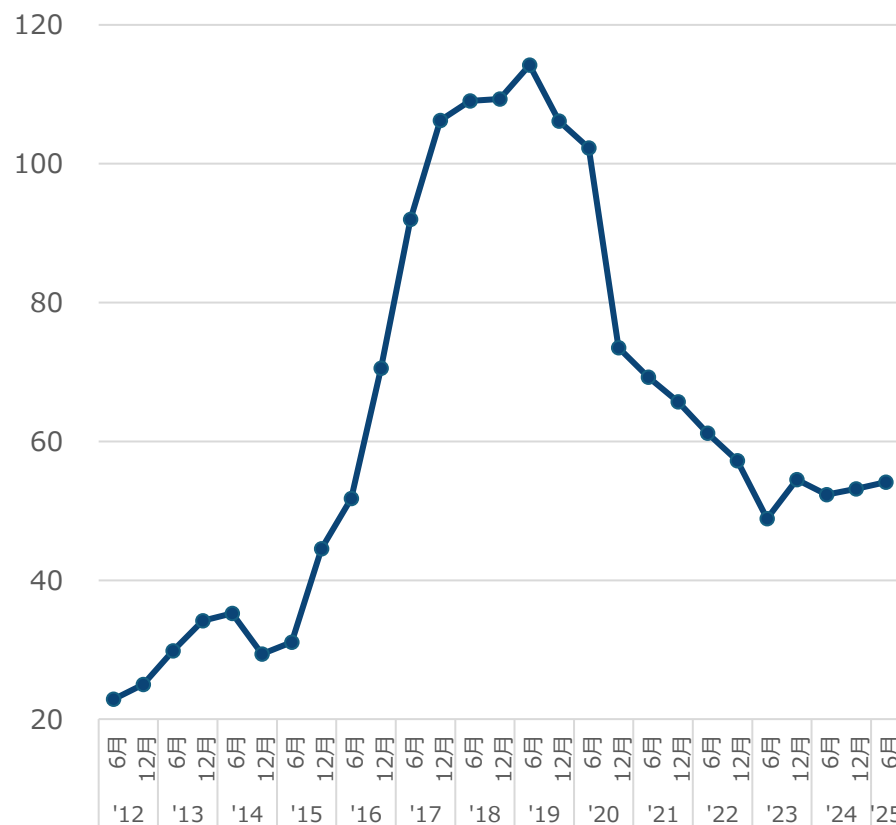
リピーターは地方部を観光する傾向あり

地方部観光地の
旅行経験者の割合³



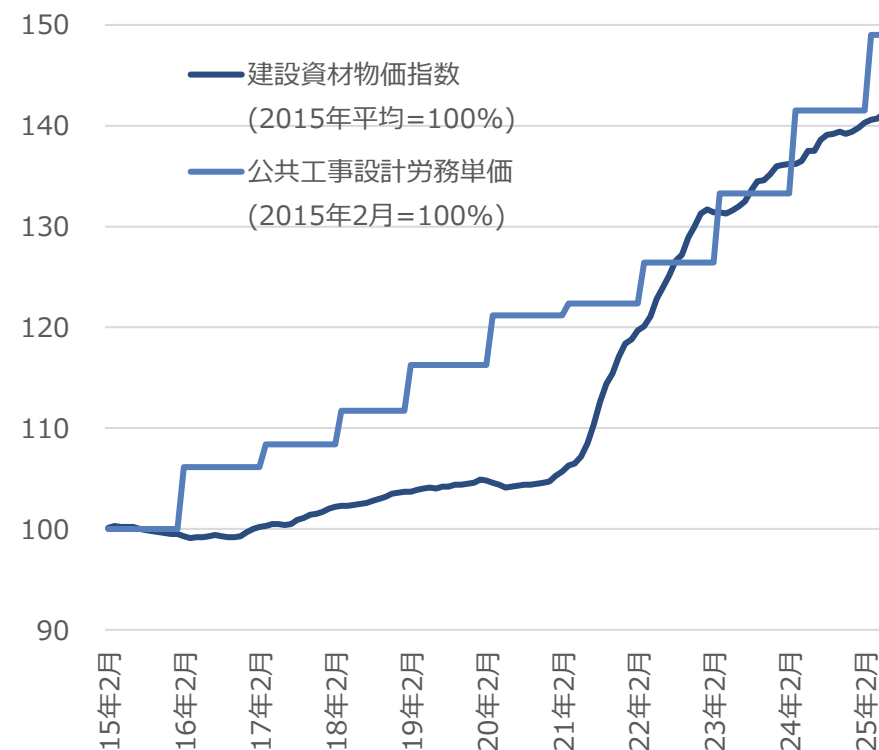
リピーターの増加は、地方部での宿泊増につながると考えられる

ホテルの供給計画数は、足許は横ばいで推移

新・増設ホテル計画確認客室数の推移（千室）¹

資材費と労務費の上昇傾向を踏まえると、今後のホテルの供給は限定的と考えられる

建築資材費と労務費の推移²





IV. 投資主優待

IV. 投資主優待

- 投資主の満足度の向上及び投資主のすそ野の拡大を企図して、投資主優待制度を導入¹
- 基準日において投資口を保有する投資主はシェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル及びすべてのICN運営のホテル²に投資主優待価格での宿泊が可能

投資主優待制度の概要 ¹		
対象ホテル	■ シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル ■ ICN運営のホテル²	
対象投資主	✓基準日時点において本投資法人の投資主名簿に記載又は記録された全投資主 ✓基準日:各決算期（6月30日／12月31日）	
優待内容	①	②
対象施設	シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル	ICN運営のホテル ²
詳細	BAR ⁴ から10%オフでの宿泊	BAR ⁴ から10%オフでの宿泊
利用条件及び制限	電話またはEメールでの予約	ICN公式ウェブサイト経由の予約
利用可能期間 ⁵	1. 基準日12月31日時点の投資主：翌年4月1日から11月30日まで 2. 基準日6月30日時点の投資主：当年10月1日から翌年5月31日まで	

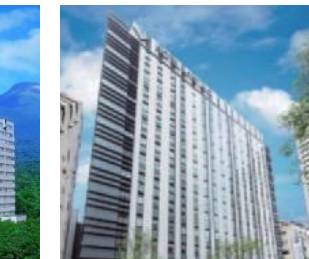
対象ホテル: シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル
及びICN運営のホテル²





シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル フサキビーチリゾート ホテル&ヴィラズ アートホテル大阪ベイタワー & 空庭温泉





ホテルマイステイズ五反田駅前 ホテルエビナール那須 ホテルマイステイズプレミア赤坂





函館国際ホテル ホテルマイステイズプレミア札幌パーク 亀の井ホテル 別府

(注1) 上記の投資主優待制度は、本書の日付現在において実施しているものであり、今後内容が変更される可能性があります
 (注2) ICNが運営するホテルをいい、アイコニア・ホスピタリティ公式サイト（<https://iconia.co.jp/>）に掲載されているホテルをいいます。但し、ICNが運営を開始してから間もないホテルについては、対象外となっているものがあります。本ページにおいて以下同様
 (注3) 2025年1月1日～2025年6月30日の6か月間における利用実績です
 (注4) BAR(Best Available Rate)とは、各ホテルが、その宿泊時期・予約時点において最も安い値段であるとする料金のことをいいます。閑散期には値段が下がり、繁忙期には値段が上がるという変動料金です
 (注5) 「利用可能期間」は、上記優待制度を利用して宿泊できる期間を意味し、実際の宿泊日が当該期間内であることが必要です



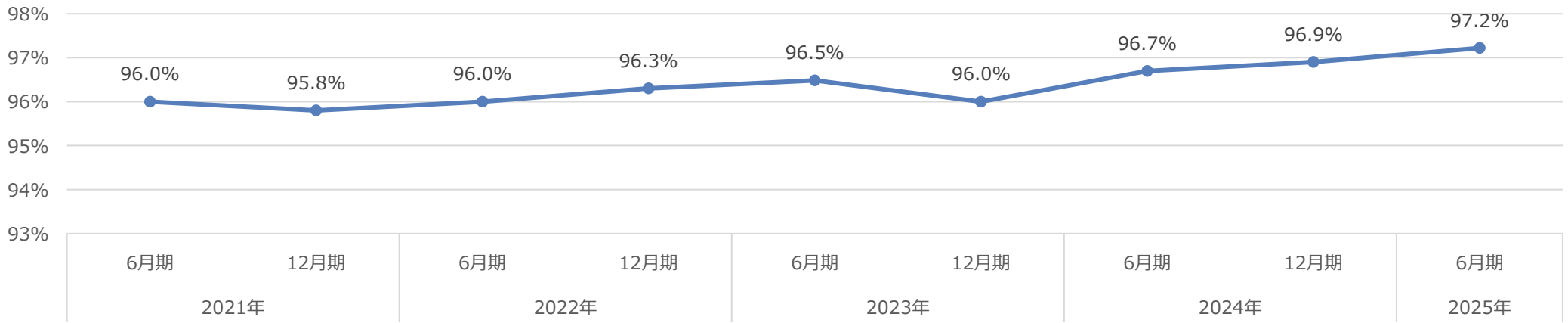
V. Appendix

■ 住居41物件と商業1物件は、ともに安定的な収益を見込む

NOI実績及び予想¹（単位：百万円）

41物件ベース	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
6月期	1,115	1,113	1,126	1,140	1,145 (実績)
12月期	1,110	1,118	1,120	1,140	1,138 (予想)
年間	2,225	2,231	2,246	2,281	2,283 (予想)

期中平均稼働率の推移¹（2021年1月 – 2025年6月：月末時点稼働率の期中平均）

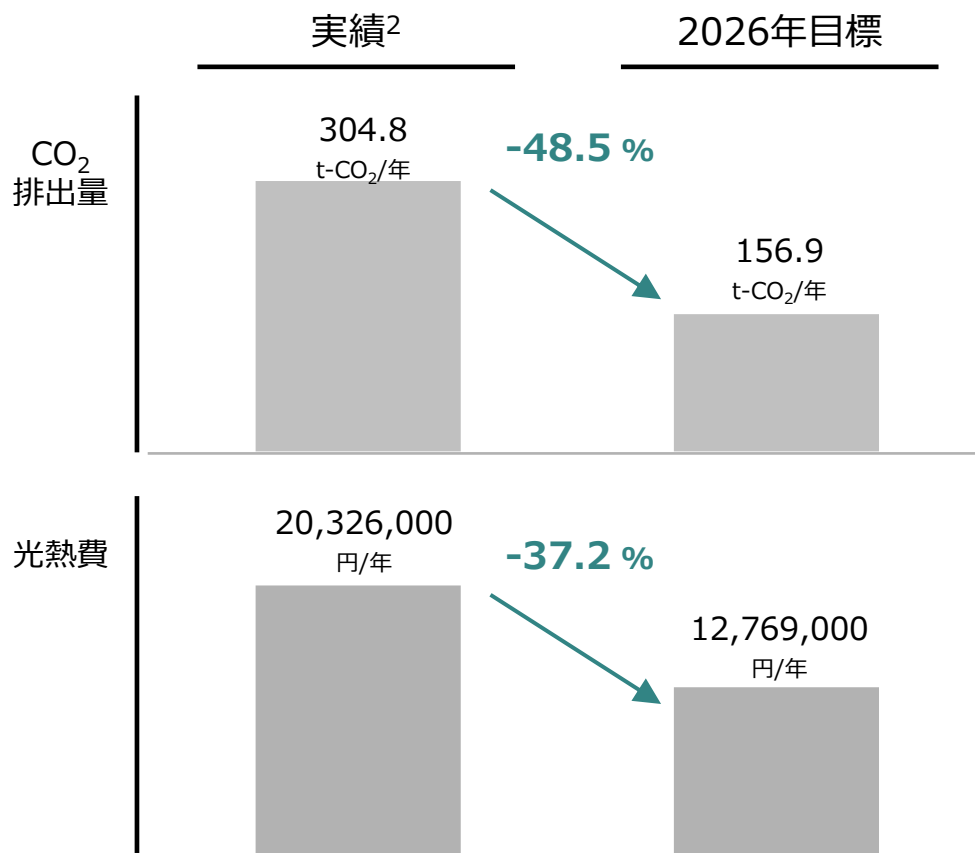


(注1) 本投資法人が2025年6月期の期末時点で保有する住居41物件のデータに基づきます。なお、NOIは一時的な保険金収入及びそれに対応する費用、信託分割に伴う一時的な信託報酬を除いた数値を記載しています

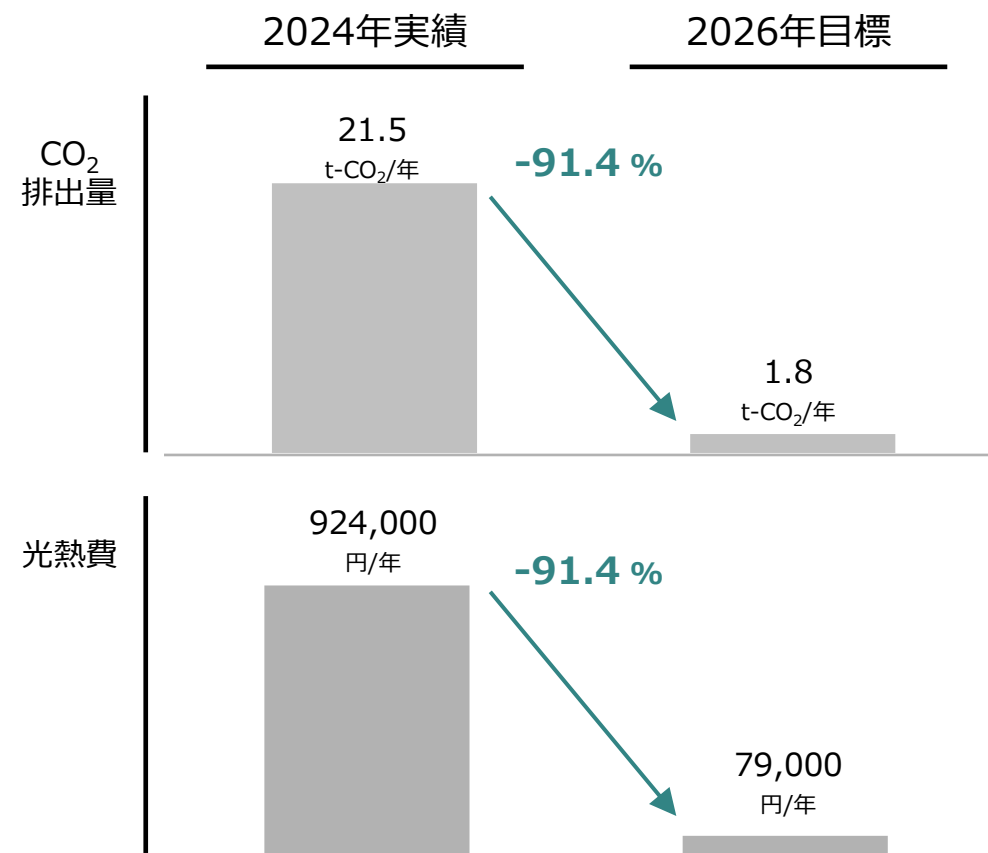
- 2025年6月期に10物件でグリーンビルディング認証を取得、総延床面積に対する認証取得割合は43.3%まで上昇
- 本投資法人は、テナントと協働し、計画的な省エネ工事等の実施により、CO₂排出量及びエネルギーコストの削減に取り組む

■ CO₂排出量とエネルギーコスト削減への取組み（2025年6月期）

ホテルマイステイズ札幌駅北口：空調設備のEHP¹化工事



ホテルマイステイズプレミア札幌パーク：屋内非常階段照明のLED化



(注 1) 電気ヒートポンプパッケージエアコン(EHP)を意味します

(注 2) 工事期間が2024年初頭から2025年後半までの約2年間の予定であるため、「実績」の数値は、2022年10月から2023年9月までのものを使用しています

本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品についての投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。本投資法人の投資口のご購入にあたっては各証券会社にお問合せください。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法又は投資信託及び投資法人に関する法律で要求され、又は金融商品取引所上場規則等で要請される開示書類や運用報告等ではありません。

本資料の内容には、将来予想に関する記述が含まれていますが、現時点で入手可能な情報並びに一定の仮定及び前提に基づくものであり、現時点では知り得ないリスク及び不確実性が内在しています。将来予想の内容は、このようなリスク、不確実性、仮定及びその他の要因による影響を受けるおそれがあります。したがって、かかる将来予想に関する記述は、将来におけるINVの実際の業績、経営成績、財務内容等を保証するものではありません。

本資料で提供している情報には誤り・遺漏等がないよう細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性、確実性、完全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。



ご照会先

コンソナント・インベストメント・マネジメント株式会社

TEL. 03-5411-2731